

令和4年度 小谷防災会 事業報告

昨年度に引き続き、今年度も新型コロナウイルス蔓延の影響で春の防災訓練は見送らざるを得ませんでした。感染の落ち着きとウィズコロナによる各種活動の再開機運が高まってきたことにより、秋の美化デーにあわせた防災訓練については実施することができました。また一昨年度に開始した防災計画／マニュアルの見直しを進めるとともに、防災機材の有効活用のため一般会員への貸出について準備を進めて参りました。

今年度は月1回の定例会で討議を重ね、具体的には以下の活動を行いました。

1 災害時地域支えあい事業

- ・ 今年度も要支援者（5世帯6名）の支援体制を維持しました。また新たに4月から開始する1年間の支援についての募集を行いました。

2 井戸端講習会の実施

- ・ 2022年11月に「災害に対する心配な事や気になることなど一緒に考えてみましょう！」の講習を行いました（9名参加）。

3 災害時ボランティア隊の募集

- ・ 今年度も災害時ボランティア隊を募集し、4名の協力を得ることができました。

4 保有資機材の棚卸実施

- ・ 2022年9月に保有資機材一覧を基に棚卸を行い、貸出に向けたシール貼付を行いました。

5 必要物品の購入

- ・ 要支援者、ケガ人の災害時避難用に、折り畳み式の車イス2台を購入しました。

6 災害時開放井戸の募集および水質検査実施

- ・ 災害時開放井戸の募集および水質検査（1戸）を実施しました。

7 防災だよりの発行

- ・ 井戸端講習会について2022年9月に、秋の防災訓練について2022年11月に、災害時要支援者募集について2023年1月に、次年度災害時ボランティア隊の募集について2023年2月に、災害時開放井戸追加募集について2023年2月に、計5回発行しました。

8 小谷小学校避難所運営委員会への参加

- ・ 44地区連協の呼び掛けで発足して10年目に入り、小谷小学校で実施した会合へ参加しました。

以上